



# 令和4年度 「小学生を対象とした建設現場見学会」を開催しました。

～ひがししらかわ建設人材育成事業～

## 1. はじめに

令和4年度「小学生を対象とした建設現場見学会」を開催しました。

この取組は、小学生を対象に、国道289号渡瀬バイパスの道路新設工事の現場見学会を通じ、新しい技術（ICT技術）を学び、建設業の魅力を伝えることで、興味や関心をもってもらい、将来の建設業を担う人材育成を目的としております。

今回は、鮫川村立鮫川小学校の6年生（25名）が見学に来ていただきました。



ドローンによる空撮

※写真撮影時のみマスクを外しています。

## 2. 見学会内容

- 日 時：令和4年9月28日（金） 9：00～11：30
- 対象小学校：鮫川村立鮫川小学校
- 参加人数：6年生25名、教師等1名 計26名
- 見学場所：国道289号 渡瀬バイパス（鮫川村大字渡瀬地内）



## 3. 見学会状況



◆新型コロナウイルス感染予防対策として、マスク着用や消毒などを徹底して実施しました。

## 体験① コンクリート作成体験



- ◆ セメントに水を加えてコンクリートを作成しました。本来は固まるまで数日かかってしましますが、早く固まるセメントを使い、その場で固まるまでを体験。

## 体験② VRによる疑似体験



- ◆ VRで電動ノコギリを使い木材を切る体験をしました。
- ◆ VR上で、正しい準備や手順を踏まないと事故につながることを学び、係員の指導の下、慎重に切断作業を体験しました。

## 体験③ 寄せ書き



- ◆ 防草板に寄せ書きをしてもらいました。みんな素敵な絵や思い出に残る文字を書いてくれました。このまま工事に使用されるので、みんなの思い出と一緒にずっと残ります。

## 体験④ 測量機器を使った宝さがし



- ◆ 宝の埋められた座標を測量機器に入力し、GNSS受信機を使って移動すると、宝の位置と自分の位置がわかります。それをもとに確実に宝に近づき見事に発見しました。

## 体験⑤ ICT建機・重機試乗体験



- ◆ ICT建機・重機に試乗しました。
- ◆ バックホウには、ICTがどのように活用されているのか説明を受け、実際に自分で操作しました。
- ◆ 振動ローラーの役割の説明を受け、実際に動かすと、地面が揺れて、パワーの強さが伝わったようです。

## 体験⑥ ドローン見学・撮影体験



- ◆ ドローンの飛行しているところを見学し、撮影をしました。
- ◆ ドローンに実際に触れ、重さやカメラの部分を確認しました。

今回の現場見学会が、子どもたちに建設業の魅力を知ってもらい、興味をもってもらうきっかけになればいいね！



今日見学をしてこの仕事の大変さとやり方が分かりました。重機試乗体験・ICT建機をして重機の動かしかつ分かったり、1個1個の作業をていねいにやらなければならぬことが分かりました。そして建設の仕事についてもっと知りたいなと思いました。

見学をしてとても楽しそうだなと思いました。重機を動かしたりするのはとても難しかったけれど、とても楽しかったです。宝物探しでは、棒みたいなのどこにうまっているかわかるからすごいと思いました。見学で体験したものはどれも楽しかったです。



※写真撮影時のみマスクを外しています。

私は見学に行き、建設の仕事の重要性を知りました。また、ローラーは1回転しただけで回るということを知りました。そして、ドローンで写真を撮って、コンピューターに送ると立体の画像が作れるのがすごいと思いました。

今日の見学で思ったことが2つあります。1つ目は、工事では安全確認を第一に考えているんだなと思いました。2つ目は、この仕事に興味がいっぱい持ったなと思いました。重機の動きも楽しかったです。

ほかにも、たくさんの感想をもらいました。子供たちの感想は、大人たちの感性にはないものもあり、気づきを与えてくれるもので、楽しく興味を持って読ませていただきました。

このように子供たちが楽しんで参加し、様々な視点から建設業に興味や関心をもってもらえたことは、

**建設業全体の励みになります！**



**安全第一**



【問い合わせ先】

福島県県南建設事務所

(担当者) 主幹兼企画管理部長 鈴木 博明

電話：0248-23-1603 (直通)